

妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的とした コミュニケーション促進ソリューションの効果検証



vivola **TEIJIN**

2022年7月21日

昨年度 採択事業（vivola株式会社）

企業/自治体共催セミナー

企業向け

企業の人事・管理職向け治療と仕事の両立支援セミナー



昨年度フィードバックをいただき、
今年度も実施する見込み

医療機関連携システム

医療機関向け

地域の産婦人科と専門医の連携による医療アクセス改善



PoC医療機関と学会発表
(日本受精着床学会@7/28-29)

事業の背景

当事者向け

妊活や不妊治療のカップルのパートナーシップ課題

1

妊娠前支援の必要性

少子化傾向、出産前の環境整備、不妊治療の保険適用
約半数が子供を望み、4人に1人が妊活を経験

2

妊活/不妊治療カップルの課題

ストレスを抱えるカップル5割、男女の知識差や
方針のズレ、治療における女性への過度の負担

3

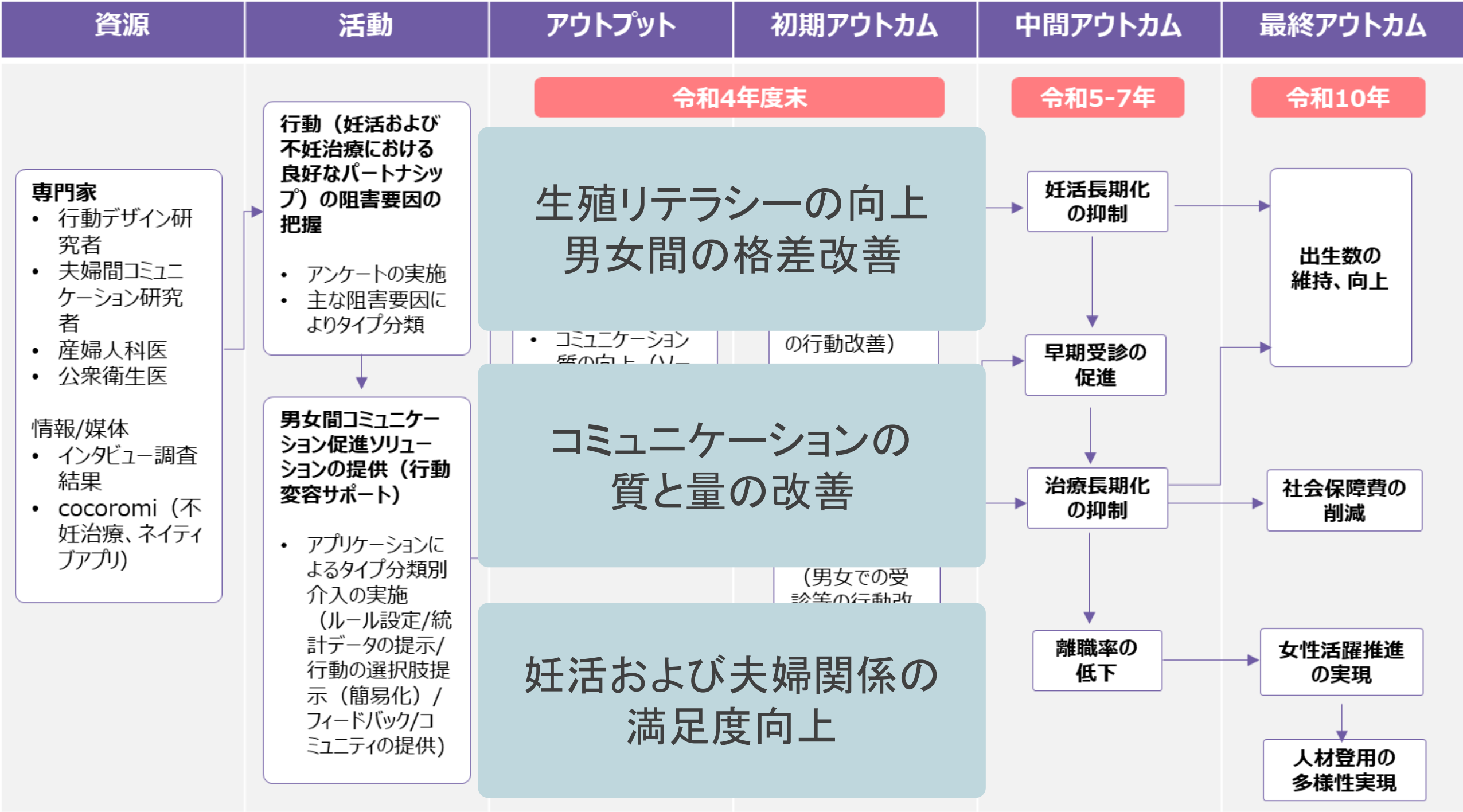
パートナーシップの重要性

パートナーシップの構築がストレス低減、長期化抑制、
仕事への意欲維持、離職の防止、今後のライフステージへの影
響



事業の目的/目標

事業の目的: 行動デザインのアプローチを用いた、男女間のコミュニケーションを促進するソリューションを提供、妊活、不妊治療における精神的なストレスを低減し、中長期的には長期化の抑制による離職率の低下に寄与する



実施内容

妊活・不妊治療におけるカップルのパートナーシップの阻害要因を把握し、適切な介入を行うことでコミュニケーションをサポートする

1

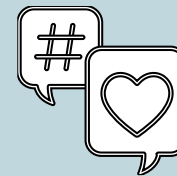


阻害要因の把握

- 問診により、
- パートナーとのGAPを可視化
 - カップルのパターン分類

項目：妊活方針、ストレス度、妊活満足度、夫婦関係満足度、会話時間、自己開示等

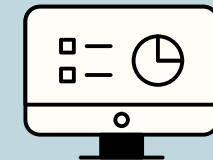
2



パートナーシップサポート

- アプリ内で、対象カップルに対し、
- 話し合いの機会創出
 - ルール整備
 - リテラシー提供
 - 治療状況の共有
- をメッセージ等で第三者介入し、行動変容を促して、パートナーシップの構築をサポート

3



評価およびフィードバック

- 介入による行動変容の結果、
- 方針のGAPやストレス度
 - タイミング実施有無
 - コミュニケーションの質と量
 - 総合的な満足度
- の変化を測定し、対象者へ必要な参考情報をフィードバック

妊活

TEIJIN



- 妊活の方針や価値観についての設問に回答
- 回答結果のうち、GAPの大きな部分を可視化
- カップル間でコミュニケーションを取るべきトピックスをAIがサジェスチョン(予定)

不妊治療

vivola



- 問診により現在の夫婦関係満足度から状態を把握、分類
- アプリ内のメッセージで治療状況の共有、コンテンツ表示により、話し合いを促進

今年度の成果指標 および 成果測定の方法

アプリによるコミュニケーションの介入前後で、
対象者に以下の設問に回答いただく事で各指標を測定する



生殖 リテラシー

医師監修のもと、妊活や
治療に関する基礎知識の
設問の正答率を測定



コミュニケーショ ンの質と量

夫婦関係満足度や会話時
間や頻度の設問に回答し
てもらい測定



妊活/不妊治療 満足度

パートナーに対する満足
度の設問に回答してもら
い満足度を測定



WHO-HPQ 共通指標

仕事へのパフォーマンス
に関する設問に回答して
もらい測定

※妊活と不妊治療で必要な尺度が異なると想定しており、各々で設問項目は設計予定（一部共通化）

Team

等身大のvivolaと帝人のコラボチーム！

vivola

プロジェクト
リーダー



角田 夕香里

事務管理
責任者



泉水 亜紀子

他2名

TEIJIN

サブ
リーダー



尾藤 宏樹

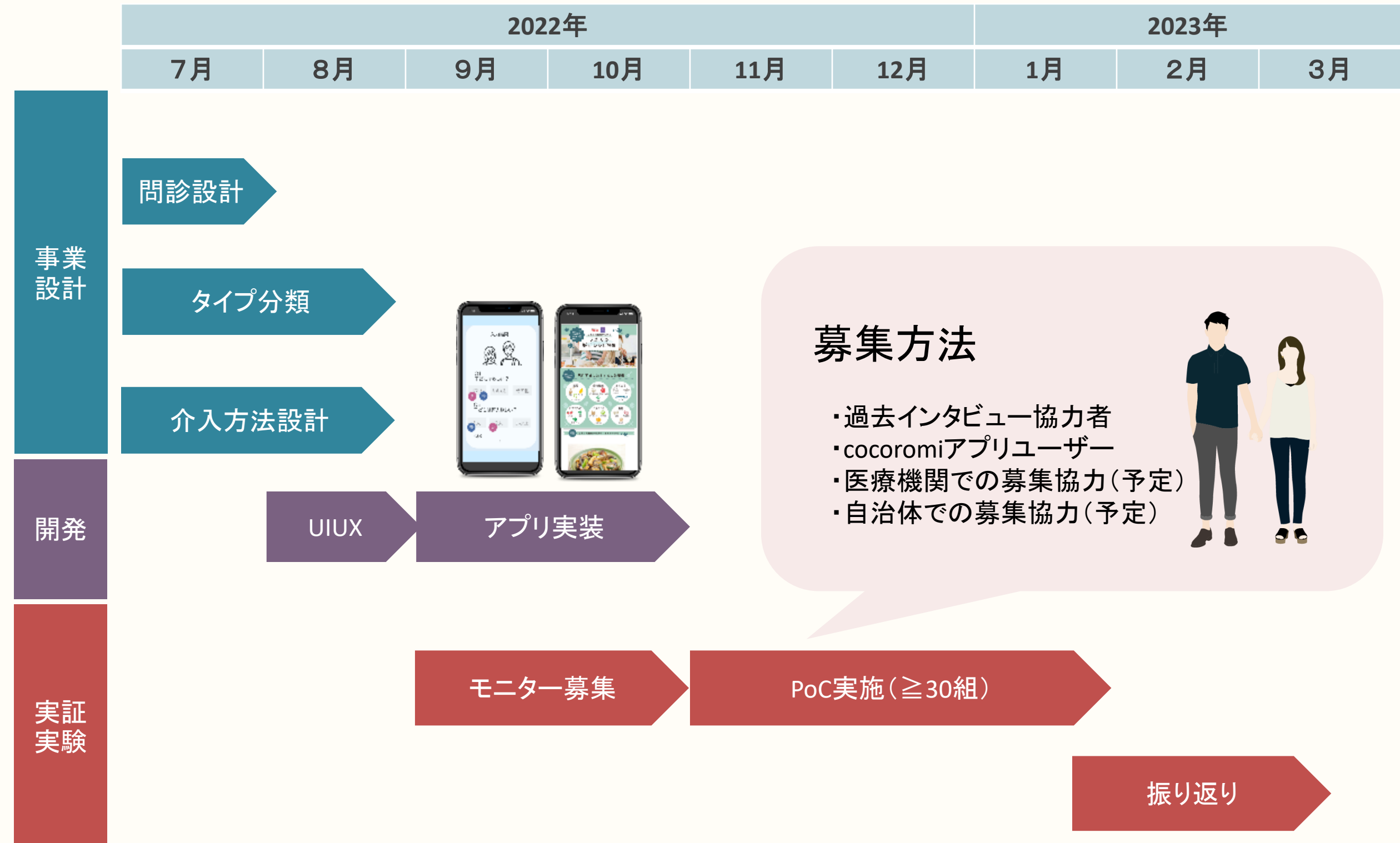
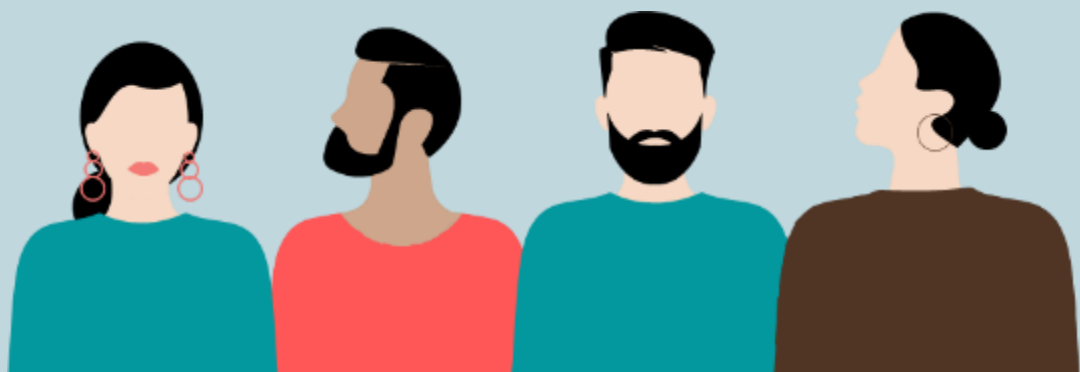


荻野 宏実

他2名

産婦人科医、公衆衛生、専門家、自治体、医療機関にご協力をいただきながら進めていきます！

実施 スケジュール



モニター募集にご協力いただける医療機関、自治体様を大募集しております！